

Interview

リフレスマートライン採用施設インタビュー



医療法人泰一会
介護老人保健施設
はつかり



スマートイン パンツタイプ

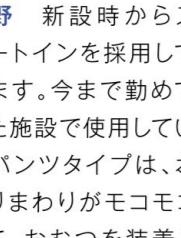
初めてスマートインを手に取った時の印象はいかがでしたか？

一戸 とてもうすくて柔らかかったので、驚きがあったと同時にご利用者様と職員双方にとって、すごく使いやすそうなパンツタイプだと感じました。



実際に使用されて、使用前の印象との違いや以前使用されていた商品と比較していかがですか？

吉野 新設時からスマートインを採用しています。今まで勤めていた施設で使用していたパンツタイプは、おしゃりまわりがモコモコして、おむつを装着していることがズボン越しに見て分かりました。リハビリ時にも足の動きなど、少し



不便を感じていました。中には気持ち悪さから、おむついじりをされる方もいました。しかし、スマートインはうすくてゴワゴワ感がないので、ご利用者様のおむついじりもなく、しっかり吸収してくれるので、モレのことなく安心して使えますね。

松村 スマートインを使用してから、夏場のムレやかぶれ、痒みなどの症状が減少し、スキントラブル改善にも役立っています。

スマートインのうすさの特長を最大限に感じていただき、ありがとうございます。
スキントラブルの改善にもつながっているのは嬉しく思います。



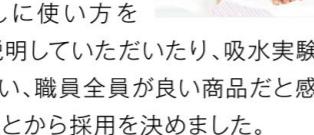
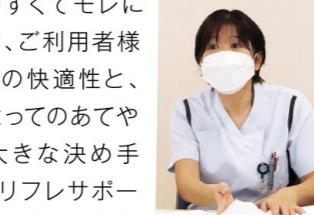
スマートインの採用の決め手を教えていただけますか？

吉野 実際に私自身も装着してみたのですが、うすくて動きやすかったんです。他の職員も同様の声でした。



新設時からスマートインを採用していただいているが、職員様へのおむつのあて方の周知はどのように工夫されましたか？

吉野 複数の施設から職員が集まるため、まずは勉強会などを通して、あて方の統一を行いました。例えば、スマートインに入れるパッドの立体ギャザーをしっかりと立て陰部の中心にあてるなどと周知しました。



看護・介護課長 一戸氏

介護主任 松村氏

介護士 吉野氏

スマートイン パンツタイプをお使いいただいている、埼玉県川越市の「介護老人保健施設 はつかり」様を訪問しました。2018年に設立されたこちらの施設では、リハビリや介護が必要な方に対し、自立を助けご家族での生活ができるだけ長く続けられるよう支援しておられます。また、利用者の方々にいきいきと日常の生活を楽しんでいたくために家庭のように、明るく落ち着いた雰囲気でサービスの質を追求されておられます（ホームページより抜粋）。今回は、一戸様、松村様、吉野様にインタビューさせていただきました。



スマートインがモレ以外の点でご利用者様に影響を与えた点はありましたか？

松村 トイレの際にご自身でパンツを上げ下げできることで、ご利用者様の自信につながり、何事にも積極的に活動・挑戦する意欲の高い方が増えたように感じます。やはり、尿モレや不快感があると積極的に活動できないと思います。実際にスマートインを使用することで、ご利用者様の生活の質が向上し、半数以上の方が布パンツへの移行につながっています。

一戸 また、ご利用者様の身体状態についての判断材料にもなるので、適切な在宅復帰に向けて役に立っていると思います。

半数以上の方が布パンツに移行されているのは素晴らしい成果ですね。

在宅復帰に向けた取り組みで大切にしている点を教えてください。

一戸 在宅介護に移行した際に、最も大変な排泄ケアがご自身でできるように支援することが重要だと考えています。在宅での介護はご家族の方も不安を抱えておられるので、ご家族の疑問や質問に応えることも大切にしています。

松村 定期的に職員とご家族で、カンファレンスを実施して情報共有を行っています。ご利用者様の意向をふまえ、身体状況やご自宅の環境にあわせて一緒にゴールを決めています。

また、ご利用者様の退所時の状態や注意点などをご家族に伝えることで、トラブルなくご自宅に帰ることができます。また、在宅復帰に重要なチーム連携を円滑にするため、職員同士が発言しやすい環境づくりも意識しています。

ご利用者様の生活の質を向上させるための徹底したケアへの情熱と、施設の明るい雰囲気が伝わってきました。



この度は、お話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

「介護老人保健施設はつかり」における 感染予防策

基本的な取り組み



面会室(診察室)

来館時のマスク、手洗い、消毒、検温の徹底

定期的な換気と加湿

ピニールカーテン越しでの面会

職員の抗原検査実施

おむつ処理方法の工夫

おむつ処理方法の工夫

毎回ピニール袋に入れ、次亜塩素酸水を噴霧してから処分する

ご利用者様の水分補給

通常の水分に加えて、200mLのスポーツドリンクを補給

食中毒予防の取り組み

ご家族等からの飲食物の持ち込みの禁止

提供後2時間以内の食事

歯ブラシに植物由來の除菌スプレーを噴霧

使用した食器類の消毒と洗面台の掃除を徹底



手間は増えましたが、感染予防策が徹底でき、おむつを毎回ピニールに入れて次亜塩素酸水を噴霧してから処分することで、施設内の尿臭・便臭の軽減にもつながっています。今後もノロウイルス、新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染予防策を徹底し、ご利用者様の快適な生活のサポートをしていきます。

介護老人保健施設はつかり